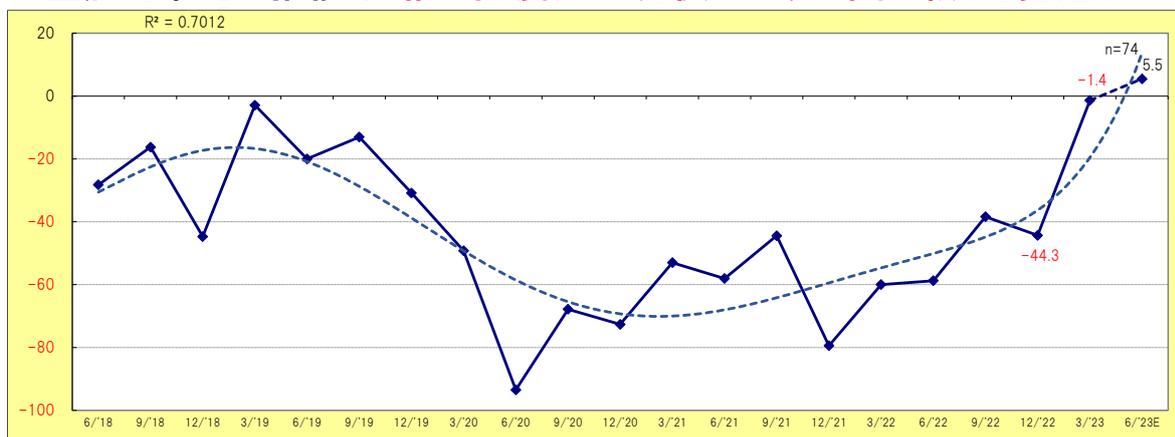


第 92 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

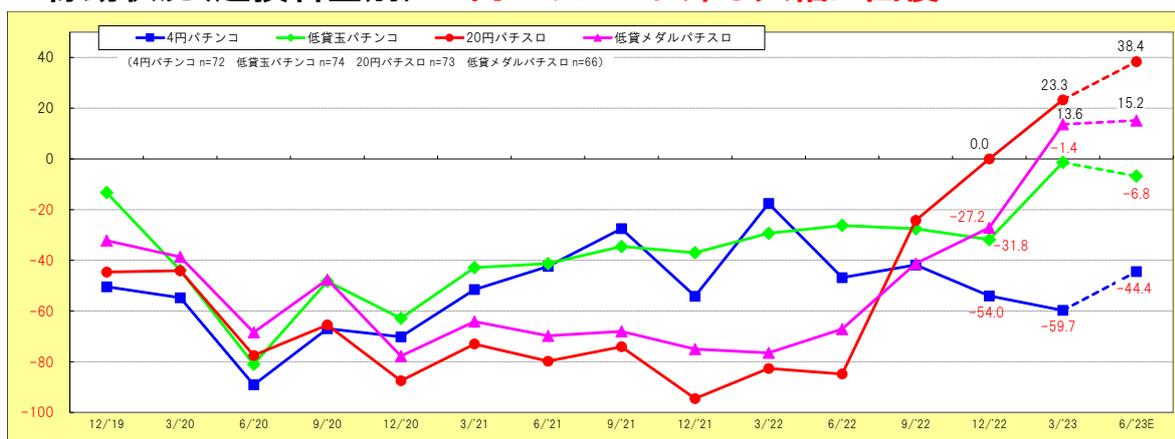
2023 年 4 月

要点

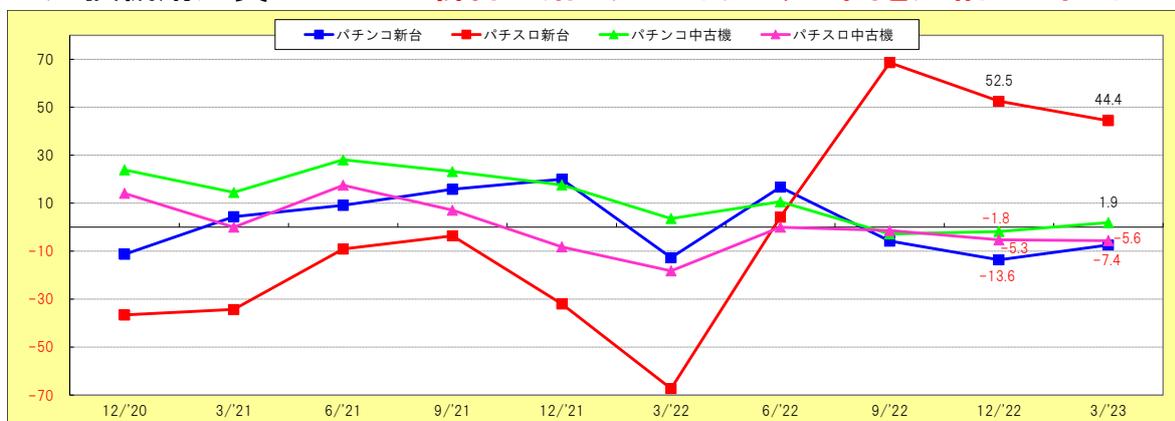
■ 全般的業況の推移: 大幅に回復、3 カ月後はプラス圏に転じる見通し



■ 稼動状況(遊技料金別): 4 円パチンコ以外は大幅に回復



■ 遊技機購入費: パチスロ新台は落ち込むも、プラス圏を大幅に上回る



◇ 回答状況

54 企業、74 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

主要指標数値(DI値)結果

■全般的業況は大幅に回復。雇用人員は厳しい状況に変化なし

「全般的業況」は▲1.4ポイント(前回比 42.9 良化)まで大幅に回復した。3カ月後は5.5ポイントまで回復する見通しである。

「稼動状況」はパチンコが▲39.7ポイント(前回比 18.4 良化)まで回復、パチスロが 27.0ポイント(前回比 24.7 良化)まで大幅に回復した。3カ月後はパチンコ▲27.0ポイント、パチスロ 41.9ポイントとなる見通しである。

「資本投資気運(遊技機)」は 16.7ポイント(前回比 29.2 悪化)まで大幅に落ち込むが、3カ月後は 35.2ポイントまで回復する見通しである。「資本投資気運(その他設備)」も 31.5ポイント(前回比 9.5 悪化)まで落ち込むも、3カ月後は 51.9ポイントまで回復する見通しである。

「不足感(雇用人員)」は▲44.6ポイント(前回比 0.9 良化)、3カ月後は▲48.6ポイントとやや落ち込む見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 →  →  -44.3 → -1.4 → 5.5	現状は曇りに良化 見通しも引き続き曇り		
2. 稼動状況 (パチンコ)	 →  →  -58.1 → -39.7 → -27.0	現状は引き続き雷雨 見通しは雨に良化		
3. 稼動状況 (パチスロ)	 →  →  2.3 → 27.0 → 41.9	現状は薄曇りに良化 見通しは晴れに良化		
4. 資本投資気運 (遊技機)	 →  →  45.9 → 16.7 → 35.2	現状は薄曇りに悪化 見通しは晴れに良化		
5. 資本投資気運 (その他設備)	 →  →  41.0 → 31.5 → 51.9	現状は引き続き晴れ 見通しも引き続き晴れ		
6. 不足感 (営業用設備)	 →  →  -31.8 → -24.3 → -35.1	現状は雨に良化 見通しは雷雨に悪化		
7. 不足感 (雇用人員)	 →  →  -45.5 → -44.6 → -48.6	現状も引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨		

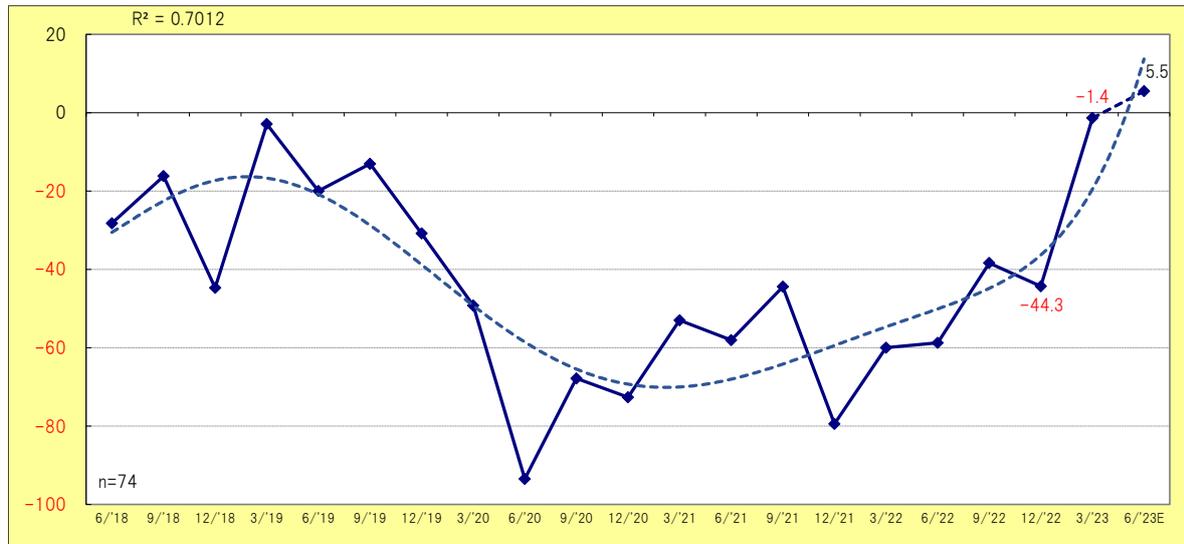
凡例: 天気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体)

注:2023年6月期(6/23E)の数値は見通し

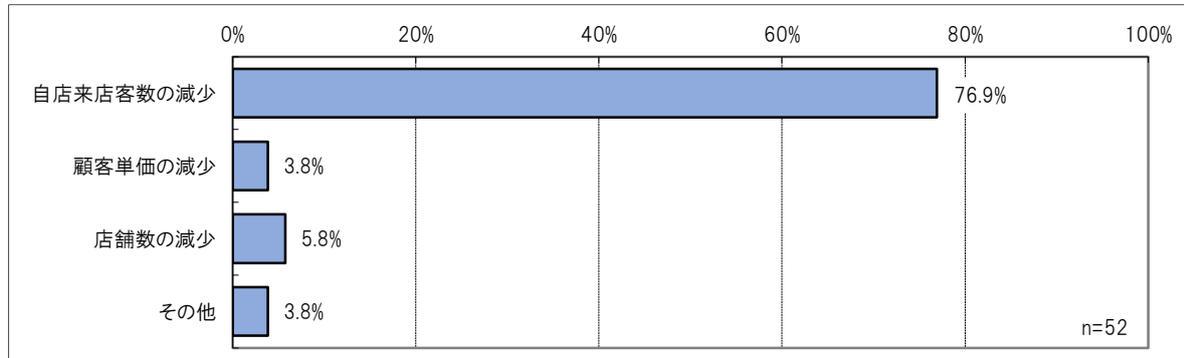
■全般的業況:大幅に回復、3カ月後はプラス圏に転じる見通し



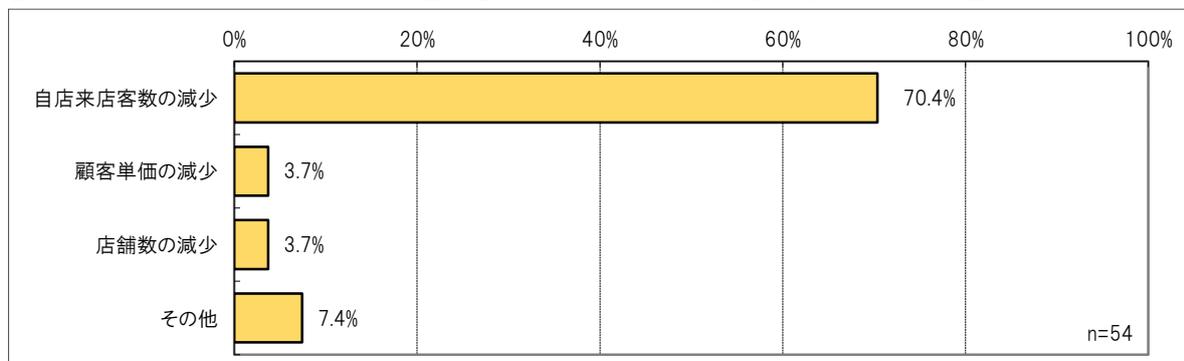
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲1.4ポイント(前回比42.9良化)まで大幅に回復した。3カ月後は5.5ポイントまで回復する見通しとなっており、業況に回復の基調が見られる。

■全般的業況の悪化理由:客数の減少は現況・先行きともに7割以上

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



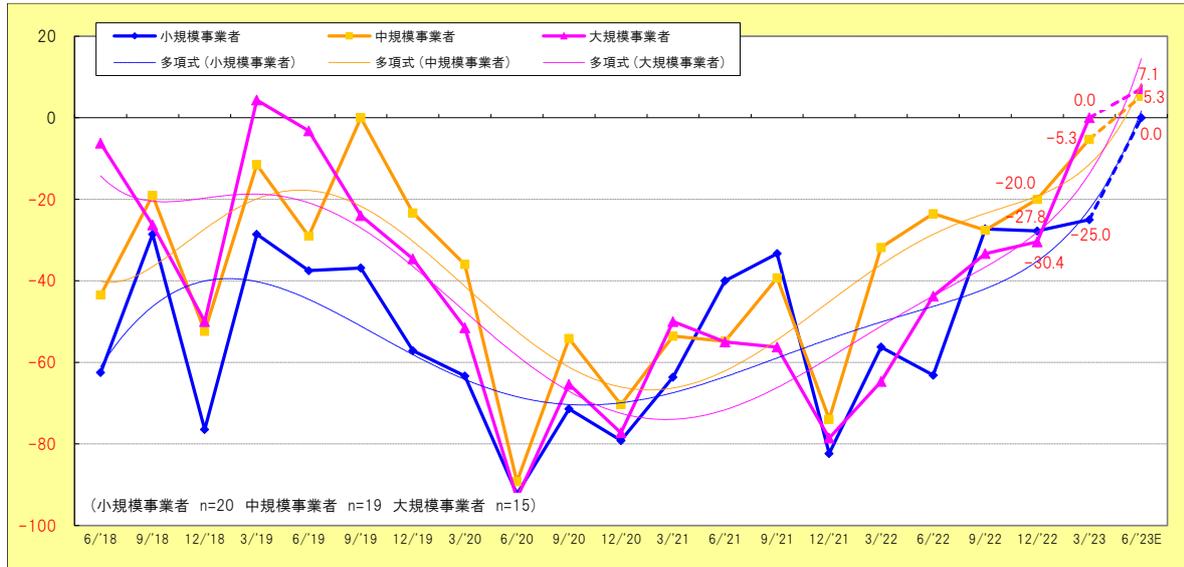
【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



全般的業況(規模別・地域別)

注:2023年6月期(6/'23E)の数値は見通し

■全般的業況(規模別):全事業規模で回復、3カ月後も回復の見通し

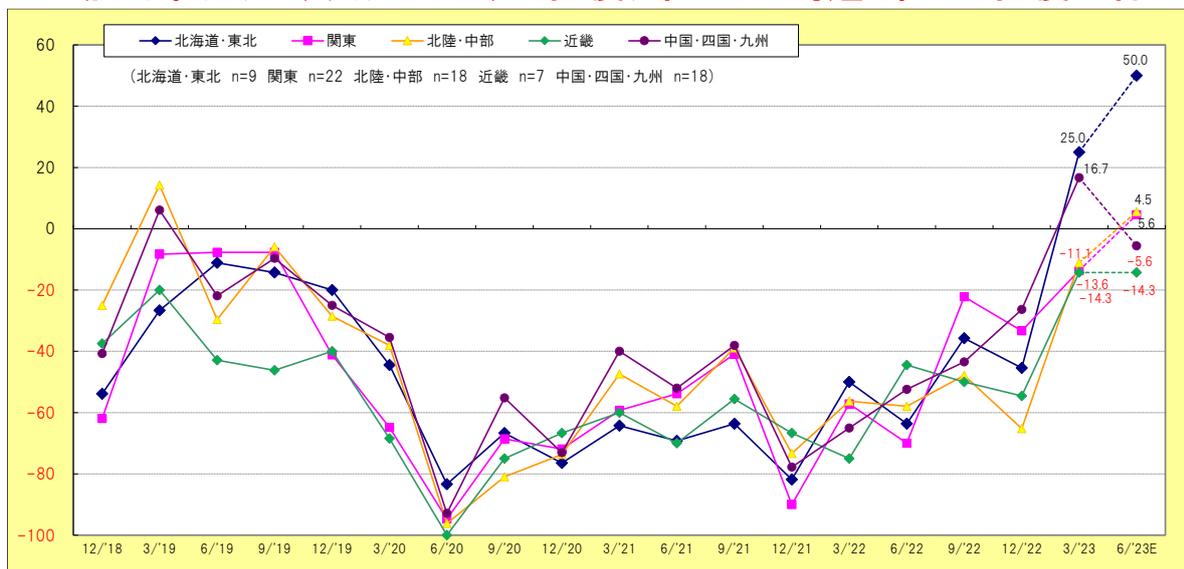


事業規模別の「全般的業況」では、すべての事業規模で回復が見られた。

小規模事業者(1~3店舗)が▲25.0ポイント(前回比2.8良化)、中規模事業者(4~10店舗)が▲5.3ポイント(前回比14.7良化)、大規模事業者(11店舗以上)が±0ポイント(前回比30.4良化)となった。

3カ月後もすべての事業規模で回復する見通しである。

■全般的業況(地域別):全地域で回復、中でも北海道・東北は回復が著しい



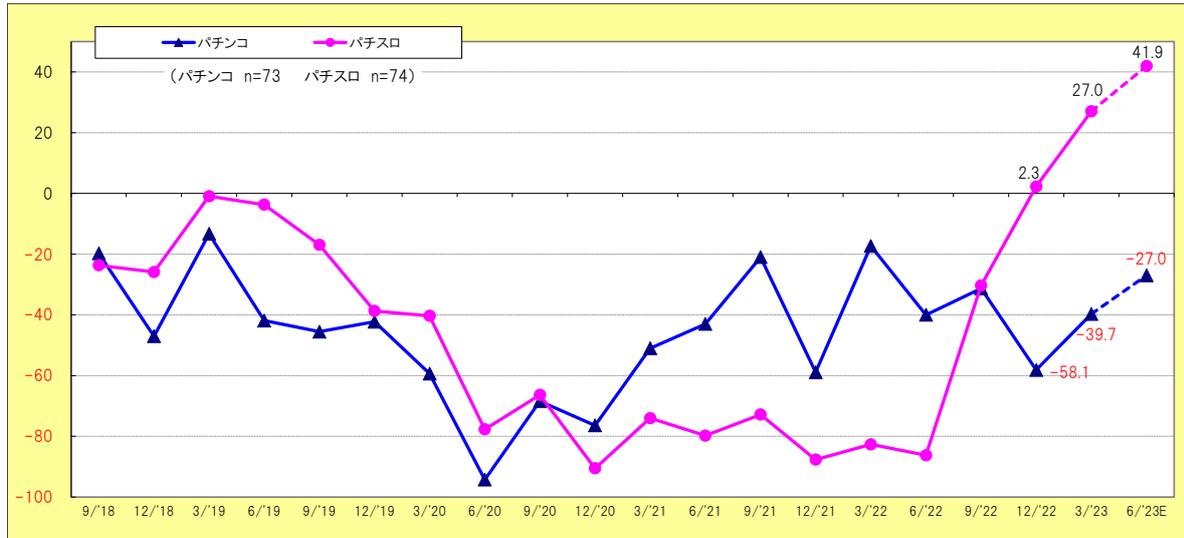
地域別での業況は全地域で回復が見られた。地域順では、北海道・東北で25.0ポイント(前回比70.5良化)、中国・四国・九州で16.7ポイント(前回比43.0良化)、北陸・中部で▲11.1ポイント(前回比54.1良化)、関東で▲13.6ポイント(前回比19.7良化)、近畿で▲14.3ポイント(前回比40.2良化)となった。

3カ月後の業況は北海道・東北で大幅に回復する一方、中国・四国・九州は大幅に落ち込む見通しである。

稼動状況(事業者全体)

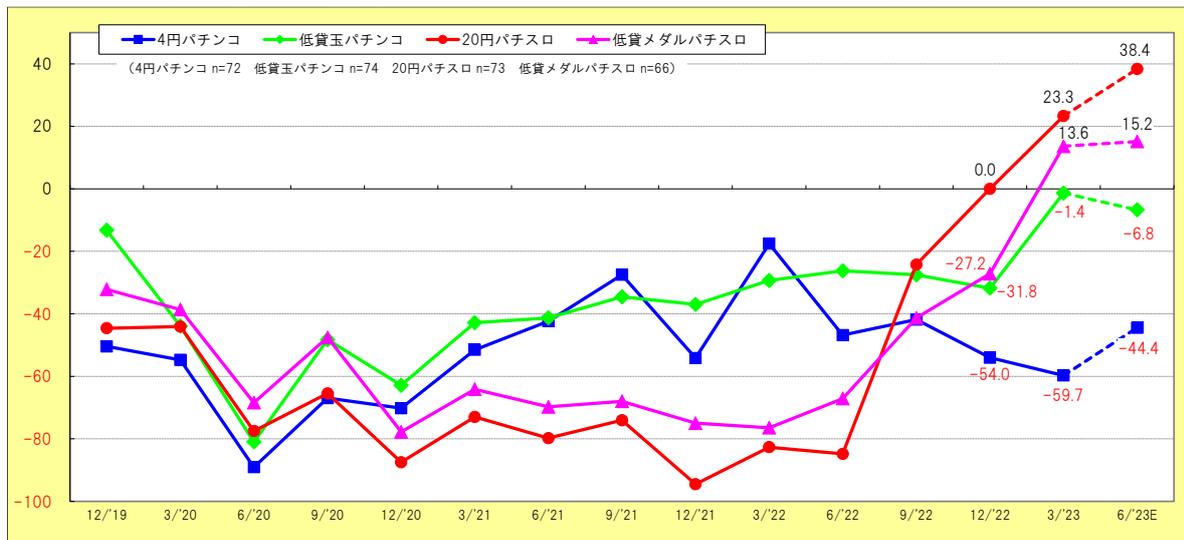
注: 2023年6月期(6/'23E)の数値は見通し

■稼動状況(パチンコ・パチスロ別):パチスロは大幅回復、3カ月後も回復の見通し



稼動状況について、パチンコは▲39.7ポイント(前回比 18.4 良化)まで回復、パチスロは 27.0ポイント(前回比 27.7 良化)まで大幅に回復した。3カ月後はパチンコ▲27.0ポイント、パチスロ 41.9ポイントとなり、パチンコ・パチスロともに回復する見通しだが、特にパチスロは回復の見通しに対する期待が高い。

■稼動状況(遊技料金別):4円パチンコ以外は大幅に回復



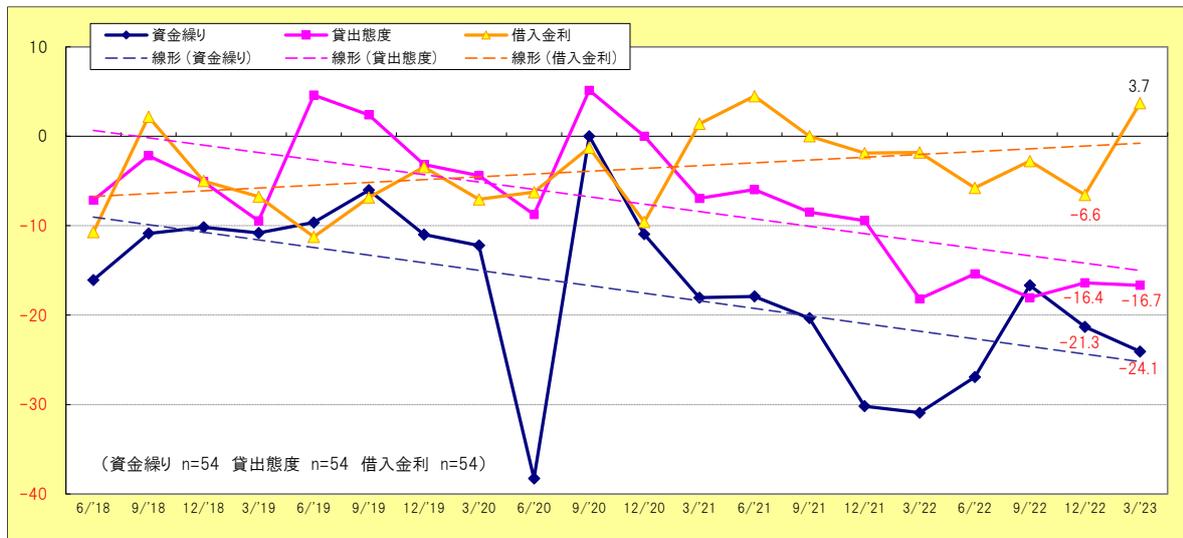
通常貸し遊技料金において、4円パチンコは▲59.7ポイント(前回比 5.7 悪化)まで低下した。3カ月後は▲44.4ポイントまで回復する見通しである。20円パチスロは 23.3ポイント(前回比 23.3 良化)まで大幅に回復した。3カ月後は 38.4ポイントまで回復する見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲1.4ポイント(前回比 30.4 良化)、3カ月後は▲6.8ポイントとやや落ち込む見通しである。低貸メダルパチスロは 13.6ポイント(前回比 40.8 良化)とプラス圏まで回復、3カ月後は 15.2ポイントと概ね現状維持の見通しである。

経営の現状(事業者全体)

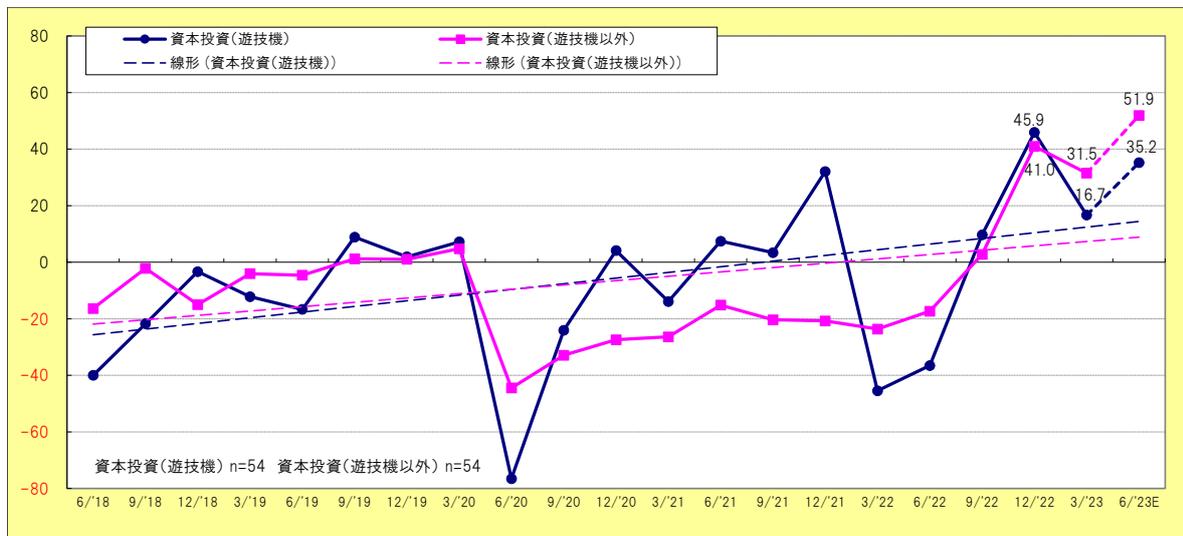
注:2023年6月期(6/'23E)の数値は見通し

■企業金融:借入金利が改善、資金繰りはやや悪化



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲24.1ポイント(前回比2.8悪化)、「貸出態度」▲16.7ポイント(前回比0.3悪化)、「借入金利」3.7ポイント(前回比10.3良化)となった。

■資本投資気運:遊技機・遊技機以外ともに悪化するもプラス圏を維持



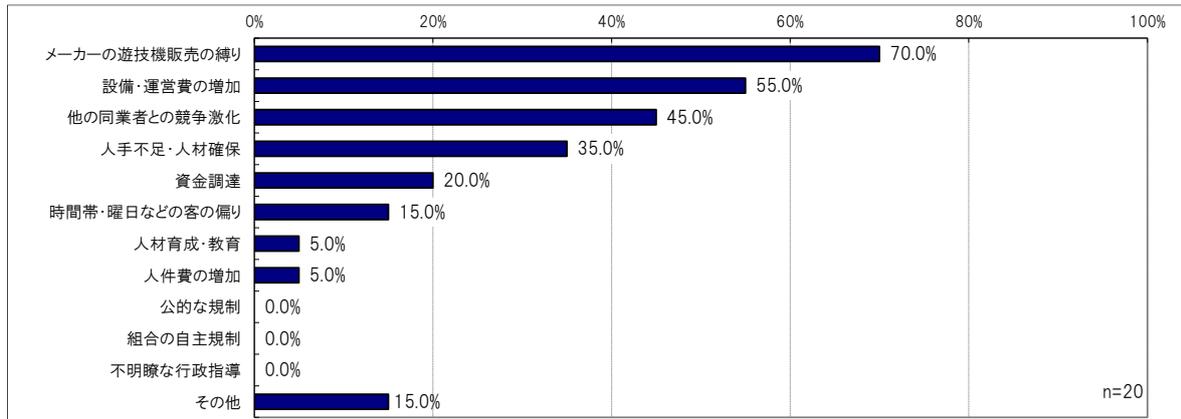
今回の「資本投資気運(遊技機)」は 16.7ポイント(前回比29.2悪化)まで大幅に落ち込んだ。3カ月後は35.2ポイントまで回復する見通しである。

一方、「資本投資気運(その他設備)」も31.5ポイント(前回比9.5悪化)まで落ち込んだ。3カ月後は44.3ポイントまで回復する見通しである。

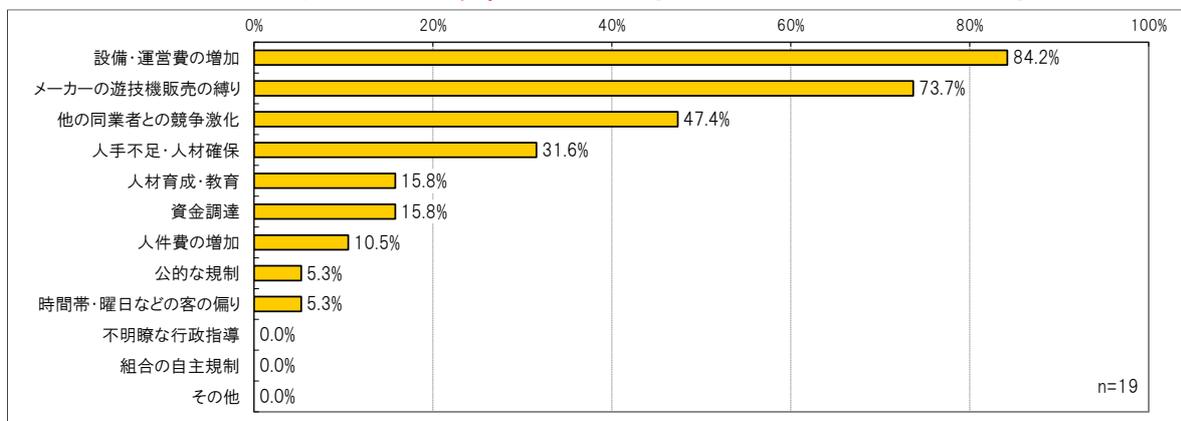
経営上の課題(事業者規模別)

注:複数回答

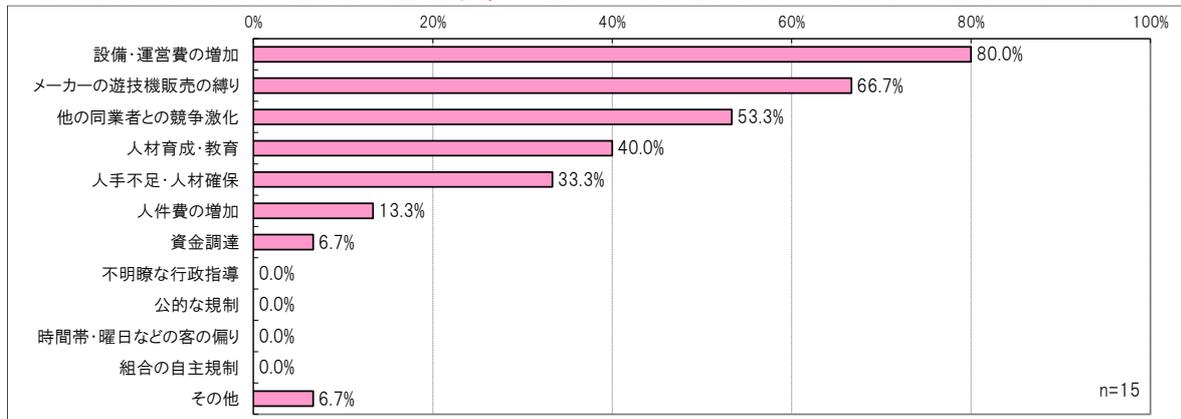
■小規模事業者:遊技機販売の縛りが最も高く、2番目に設備・運営費の増加



■中規模事業者:設備・運営費の増加が最も高く、2番目に遊技機販売の縛り



■大規模事業者:設備・運営費の増加が最も高く、2番目に遊技機販売の縛り



「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)は「メーカーの遊技機販売の縛り」が70.0%で最も高い。2番目に「設備・運営費の増加」が高かった。

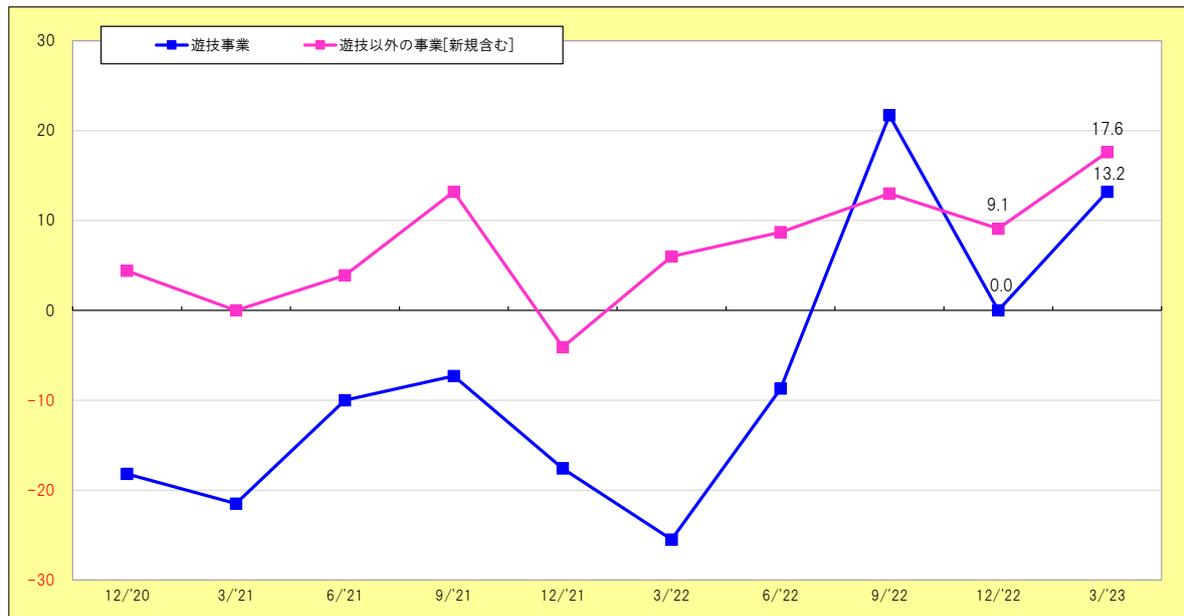
中規模事業者(4~10 店舗)は「設備・運営費の増加」が84.2%で最も高い。2番目に「メーカーの遊技機販売の縛り」が高かった。

大規模事業者(11 店舗以上)も「設備・運営費の増加」が80.0%で最も高い。2番目に「メーカーの遊技機販売の縛り」が高かった。

前回に続き、「メーカーの遊技機販売の縛り」「設備・運営費の増加」が上位となっており、事業規模にかかわらず大きな課題と捉えていることがうかがえる。

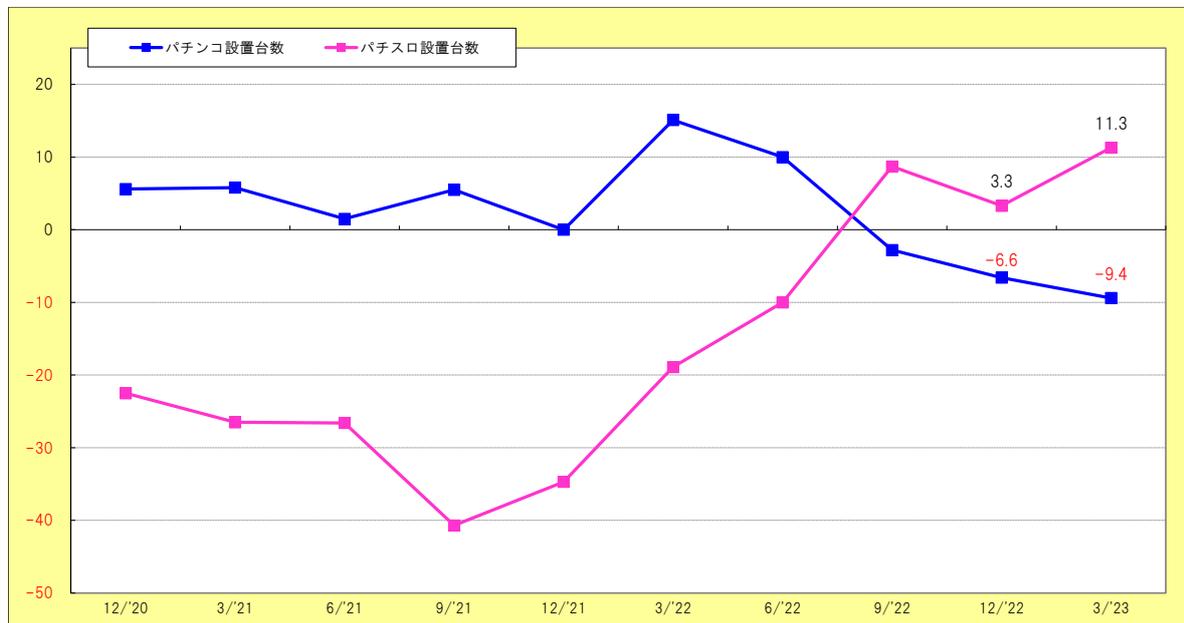
今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)①

■事業規模:遊技事業・遊技以外の事業ともに回復



事業規模について増減差(「拡大」-「縮小」)で見ると、「遊技事業」は 13.2 ポイント(前回比 13.2 良化)、「遊技以外の事業」は 17.6 ポイント(前回比 8.5 良化)となり、どちらも回復した。

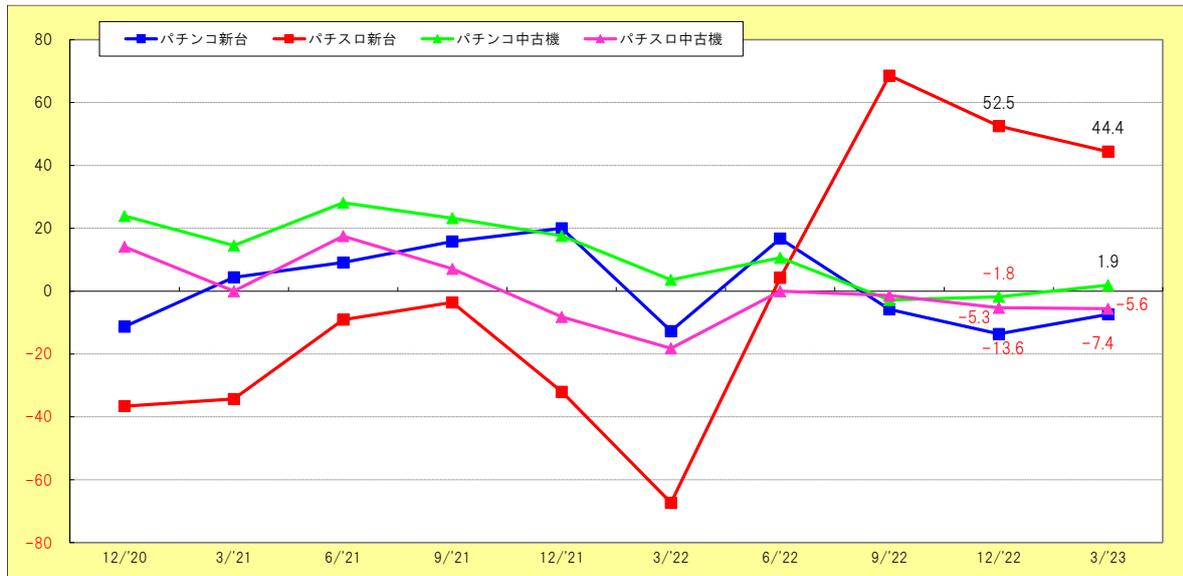
■設置台数:パチスロは回復、プラス圏を維持



設置台数について増減差(「増台」-「減台」)で見ると、「パチンコ設置台数」は▲9.4 ポイント(前回比 2.8 悪化)となり、やや低下した。一方、「パチスロ設置台数」は 11.3 ポイント(前回比 8.0 良化)まで回復し、プラス圏を維持している。

今後3カ月間の営業施策(事業者全体)②

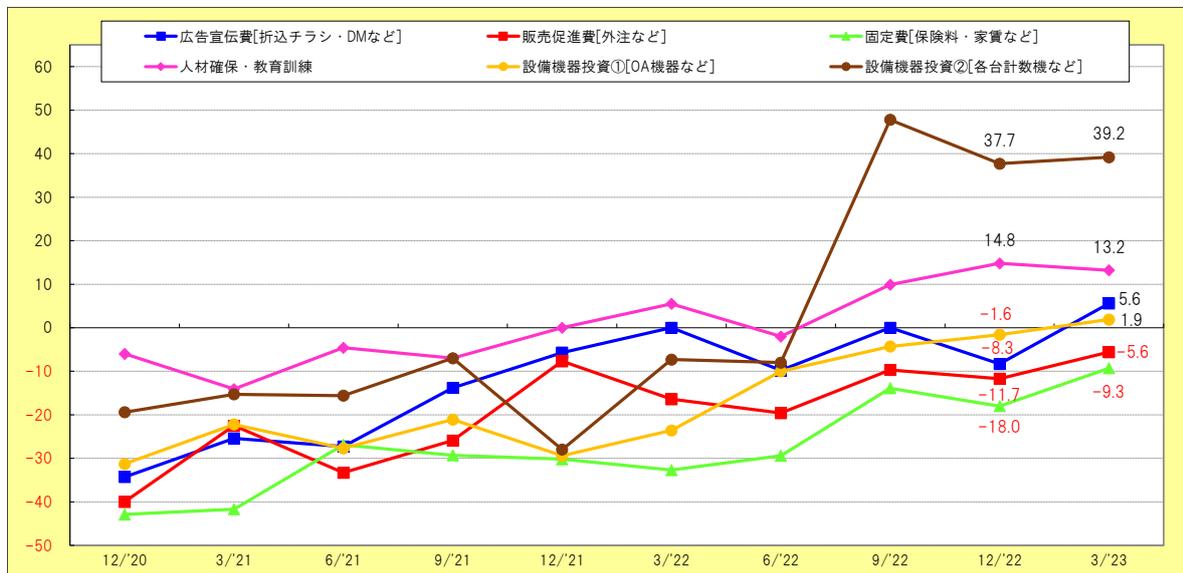
■遊技機購入費:パチスロ新台は落ち込むも、プラス圏を大幅に上回る



遊技機購入費について増減差(「増やす」-「減らす」)で見ると、「パチンコ新台」は▲7.4ポイント(前回比6.2良化)、「パチスロ新台」は44.4ポイント(前回比8.1悪化)となった。

「パチンコ中古機」は1.9ポイント(前回比3.7良化)、「パチスロ中古機」は▲5.6ポイント(前回比0.3悪化)となった。

■販売管理費:「設備機器投資②」は引き続き、プラス圏を大幅に上回る



販売管理費について増減差(「増やす」-「減らす」)でそれぞれの割合を見ていくと、「広告宣伝費」は5.6ポイント(前回比13.9良化)、「販売促進費」は▲5.6ポイント(前回比6.1良化)、「固定費」は▲9.3ポイント(前回比8.7良化)、「人材確保・教育訓練」は13.2ポイント(前回比1.6悪化)、「設備機器投資①」は1.9ポイント(前回比3.5良化)、「設備機器投資②」は39.2ポイント(前回比1.5良化)となった。

各管理費の中でも「設備機器投資②」はプラス圏を大幅に上回っており、スマート遊技機に対する設備投資の意向が引き続き高いと考えられる。

コメント(自由回答)抜粋①

■現状と今後について

- ◆売上はかなり回復してきたが、それ以上に経費が膨らんでいるので、経営の厳しさは増す一方である。(中国・小規模事業者)
- ◆課題が山積しているが、光熱費の上昇は今後も課題となるだろう。人材確保をしているが定着率が低く、現場やシステムの問題を潰していても改善が図れないので、深掘した対策が必要である。(関東・小規模事業者)
- ◆営業する上で、電気代の高騰が気になる。(東北・小規模事業者)
- ◆メーカーの抱き合わせ販売をやめてほしい。(近畿・小規模事業者)
- ◆競合店との競争で必要な遊技機は導入しないとイケないが、メーカーの抱き合わせ販売で会社がもう持たない状況にある。抱き合わせに乗らなければ乗らないで競争に負けて、売上・粗利が落ちるのは目に見えている。公平な販売が無理なのはわかっているが、企業規模に関係なく抽選等で公平に購入できるシステムになることを望む。(関東・中規模事業者)
- ◆パチンコ店を最も苦しめているのは機歴販売や抱き合わせ販売で、一定程度買い続けないと遊技機が入手できない。それによって粗利率を高める営業になり、客数が減少していく負のスパイラルになるのではないかと懸念している。(北陸・小規模事業者)
- ◆遊技機の価格高騰と理不尽な販売方法、遊技客の要望を無視した遊技機の大型化(データ表示器が見られない等)に変化がなければ、パチンコファンの減少は続くと思われる。(九州・小規模事業者)
- ◆設備も遊技機もファンからいただいたお金ですべて成り立っているという現状を、各メーカーにも今まで以上に認識してもらう必要がある。ファンを増やすことだけに業界で集中していくべきである。(関東・中規模事業者)
- ◆パチンコの射幸性と単価が上がりすぎており、ファンの疲弊感を感じる。(関東・小規模事業者)
- ◆小規模店舗の相次ぐ閉店や遊技機メーカーの西陣が廃業を表明するといった出来事は、今の厳しい現状を表していると思う。新型コロナウイルスの位置づけが5類になった後、景況が上向くことに期待したい。(中部・小規模事業者)
- ◆今後は資本力のある企業同士の競争になるので、無駄を省きより良い投資を心掛けてお客様のニーズに寄り添っていくことを実行したい。(関東・中規模事業者)

コメント(自由回答)抜粋②

■スマート遊技機への展望や課題など

- ◆スマスロ、スマパチの動向は注視する必要がある。(関東・中規模事業者)
- ◆スマート遊技機に期待している。(九州・大規模事業者)
- ◆昨年11月からスマスロのリリースがあったが、追加の新機種が発表されなかったため、年明け以降で盛り上がりを感じなかった。4月からスマパチも登場するがもう少し機種が揃ってからスタートしてもらいたかった。(関東・大規模事業者)
- ◆スマスロ、スマパチの新台幣販売をあと1年遅らせてほしかった。今の厳しい経営環境の中で、投資を増やすのは非常に厳しい。(関東・小規模事業者)
- ◆スマスロの登場によりパチンコからパチスロへの顧客移動が起きている。客の奪い合いという視点では、どうしても集客しやすいパチスロの販促(出玉での還元含む)に傾斜しがちである。パチンコは目下の玉粗利(時間粗利)が高騰する一方、パチスロは横這いかむしろ微減のトレンドである。今や4円パチンコと20円パチスロの時間粗利は2倍近い開きがある。ちなみに4号機全盛期(2004～6年)の時間粗利は、パチンコが600円台中盤、パチスロが800円台中盤だったことを考えるとパチンコの負担が大きい。(関東・大規模事業者)
- ◆スマスロの導入結果で分かるように、射幸性を低下させ、ファンの離反を招いた行政やメーカーの考えが変わらない限り、ライトなファン層が離れていくことは必至である。メーカーは中小規模のパチンコ店を相手にせず、大規模のパチンコ店だけで商売ができると本当に思っているとしたら業界に未来はない。(関東・小規模事業者)
- ◆スマスロ・スマパチの導入が進んでいく中で、ユニット等の設備投資に負担がかかるのが難点だ。またスマート遊技機の貢献度も未知数であり、不安がある。(中部・小規模事業者)
- ◆ユニットの供給不足は光熱費と同様に他の事業者も同じ悩みだと思われるので、それ以外の出玉還元に向けたコストカットを推進していく。(関東・小規模事業者)
- ◆スマスロ・スマパチの販売に対してユニットの供給が不足している。(九州・中規模事業者、北陸・小規模事業者)
- ◆4月に導入されるスマスロ北斗の拳で客数の増加に繋がってほしいがどうだろうか。スマート化に対する設備投資に加え、来年の新紙幣対応も重なっているため厳しい。政府には新紙幣対応の設備投資に対する補助金を検討して欲しい。(中国・大規模事業者)
- ◆依然としてスマート遊技機用のユニットが足りない。メーカーもそれをわかっているのに、スマート遊技機を販売する。メーカーによってはスマート遊技機に対して平気で台数縛りを仕掛けてくる。メーカーもパチンコ店も業界の将来を慮ることはないようだ。どこかで見た光景だが、パチンコ業界に世紀末の世界観を感じる。(中国・中規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-27.8	-25.0	0.0	-20.0	-5.3	5.3	-30.4	0.0	7.1	-44.3	-1.4	5.5
稼動状況(パチンコ)	-38.9	-45.0	-20.0	-36.8	-50.0	-31.6	-56.5	-53.3	-33.3	-58.1	-39.7	-27.0
稼動状況(パチスロ)	-5.6	10.0	20.0	10.0	26.3	47.4	26.1	33.3	53.3	2.3	27.0	41.9
資本投資気運(遊技機)	11.1	-10.0	5.0	60.0	42.1	47.4	60.9	20.0	60.0	45.9	16.7	35.2
資本投資気運(その他設備)	16.7	5.0	25.0	50.0	47.4	63.2	52.2	46.7	73.3	41.0	31.5	51.9
不足感(営業用設備)	-33.3	-15.0	-30.0	-15.0	-21.1	-21.1	-26.1	-13.3	-26.7	-31.8	-24.3	-35.1
不足感(雇用人員)	-38.9	-55.0	-65.0	-45.0	-42.1	-36.8	-43.5	-60.0	-66.7	-45.5	-44.6	-48.6

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-45.5	25.0	50.0	-33.3	-13.6	4.5	-65.2	-11.1	5.6
稼動状況(パチンコ)	-63.6	-11.1	0.0	-39.1	-52.4	-31.8	-69.6	-44.4	-27.8
稼動状況(パチスロ)	0.0	33.3	55.6	16.7	45.5	54.5	-8.7	27.8	38.9
不足感(営業用設備)	-27.3	-22.2	-33.3	-12.5	-13.6	-31.8	-43.5	-33.3	-50.0
不足感(雇用人員)	-36.4	-33.3	-44.4	-29.2	-54.5	-54.5	-60.9	-55.6	-61.1
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-54.5	-14.3	-14.3	-26.3	16.7	-5.6	-44.3	-1.4	5.5
稼動状況(パチンコ)	-80.0	-71.4	-71.4	-52.6	-22.2	-16.7	-58.1	-39.7	-27.0
稼動状況(パチスロ)	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	38.9	2.3	27.0	41.9
不足感(営業用設備)	-45.5	-42.9	-42.9	-36.8	-22.2	-22.2	-31.8	-24.3	-35.1
不足感(雇用人員)	-45.5	-57.1	-57.1	-52.6	-22.2	-27.8	-45.5	-44.6	-48.6

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-22.7	-16.7	-45.0	-6.9	-30.0	-21.1	-23.8	-17.4	0.0	-16.7	-21.3	-24.1
貸出態度	-18.2	-22.2	-35.0	-20.7	-10.0	-10.5	-14.3	-17.4	0.0	-18.1	-16.4	-16.7
借入金利	9.1	-22.2	-5.0	-3.4	5.0	5.3	-14.3	-4.3	13.3	-2.8	-6.6	3.7

* 全般的業況 n=74、稼動状況(パチンコ)n=74、稼動状況(パチスロ)n=74、資本投資気運(遊技機)n=54、資本投資気運(その他設備)n=54、

不足感(営業用設備)n=74、不足感(雇用人員)n=74、資金繰り n=54、貸出態度 n=54、借入金利 n=54

* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査である。本調査は2020年9月より(株)シーズ/シーズリサーチが企画・実施しており、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所から引き継いだものである。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、MIRAIぱちんこ産業連盟、余暇環境整備推進協議会の3団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有カパチンコ店経営企業

◇実施時期：

2023年3月16日～3月31日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

<https://sees-research.com>

◇回答状況：

54企業、74地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査元 〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F
Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 URL:<https://sees-research.com>



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

調査協力 〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 URL:<https://www.eb-i.jp/>